

## 「よい行ないとは何か？」

2015年8月23日(日)

カフェ・ミヤマ渋谷公園通り店 [1号室] (渋谷)

参加：15名

司会・文責：堀越

## 1. 概要：

- ・「よい行ないとは何か？」を問いとして新規参加者6名を含む総勢15名で対話しました。思考実験で描かれる二人の架空の女性、スカイラーとトリーネの考え方を吟味し、どちらが道徳的により善かについて、行ったり来たりしながらも静かに考え、対話を進めました。

## 2. 対話：

## (0) 思考実験の共有と問いについて

- ・「100の思考実験／ジュリアン・バジーニ著」から「心と頭：よい行ないとはなんだろうか？」を共有し、二人の登場人物：スカイラーとトリーネの考え方を題材に、「よい行ないとはなんだろうか？」という問いを挙げ、考えたいと提起した。

## (1) 前提条件の確認

- ・何か行為の善し悪しを考える際に、結果としての行為を受ける人のことを考えるべきなのであるか。  
→道徳的な行為をした対象が動物のときは、その動物は行為自体をどう思うかは分からないので、行為を受ける人のことは考える必要はない。  
→この場合は、他者を考慮に入れず、自分と道徳だけが社会にあってそこで自分が考えるということか。  
→行為の結果を予測できるのか？ 予測は予測であり、当たるかどうかは確率でしか語れない。
- ・そもそも道徳的とは何か？→自分が考える（判断する）しかないのではないか。
- ・この思考実験の前提に対する疑問だが、もしこの二人がナチスであれば、ユダヤ人をかくまう行為そのものが悪とはならないか。

## (2) どちらが道徳的により善いか？

- ・トリーネの考え方は「自分がして欲しいと思うことを相手にもせよ」という聖書の教義から来していると考えられるが、「物乞いにお金をあげてそれが麻薬に使われても取り合わない」という点からはどうも無責任に思えるので、共感できない。
- ・トリーネは、行為のことをあまり考えていないし、そのため、行為を道徳的と思っていない。一方で、スカイラーは、人によって行為を変えるし、行為を道徳的と思っている可能性がある。

## (3) 道徳基準は？

- ・二人とも道徳的には善い人に思えるが、道徳の基準が異なるように思う。
- ・トリーネの道徳判断は、単純で「困っている人がいるかどうか」だけである。
- ・スカイラーの道徳判断は、自分中ではなく、外にある道徳基準に基づいている。
- ・スカイラーの道徳判断は、自己の中にあるチェックリストにある何項目かの吟味を一つひとつしているように思われるため、より道徳的で、質が高い。
- ・スカイラーは、感情よりも理屈で吟味している。倫理は理屈である。よって、より道徳的である。
- ・スカイラーの道徳判断におけるチェックの項目はいくつあるのか？ 多くなり過ぎると判断できない。また、このチェック項目はその人の知性に関わるのだろうか？  
→チェック項目が多過ぎて動けなくなることと、道徳的であるかどうかは関係がないのではないか。
- ・道徳基準を考えると、理屈と理屈では差がない。また、理屈と感情では理屈の方が道徳的である。
- ・感情を100%排除して理屈だけの判断は道徳的か？  
→もし道徳判断には理屈しか関係がないとしたら、自動道徳判定装置があれば最も道徳的ということになる。やはり感情も必要なのではないか。
- ・道徳判断の基準は自分の外側（社会）にあるべきである。よって、チェックリストは共有ができないとダメであり、スカイラーだけのリストではダメ（不十分）である。

## (4) 再びどちらが道徳的により善いか？

- ・スカイラーは、道徳判断において、チェックリストの判断結果によってはある人を助けない場合がある可能性がある。一方、トリーネは、困っている人かどうかだけが判断基準であるため、必ず助けるはずである。そう考えると、トリーネの方が道徳的に善なのではないか。
- ・スカイラーの道徳判断における基準が「困っている人は必ず助ける」であれば、スカイラーとトリーネは同じ基準になるはずであり、差はなくなる。
- ・そういう前提であれば、助けてあげる人々の数を考えると、スカイラー<トリーネという不等式は常には成り立たないことになる。

## (5) 何も行わないこと（行為なし）は道徳的にはならないのか？

- ・行わないことが道徳的であることはあり得る。例えば、思考実験の文脈において、困っていると思える人がスパイを疑われる場合は、助けないということが道徳的になり得る。
- ・但しこの「行わないことが道徳的である」を考えると、判断停止の状態は道徳的であるとは言えないはずである。

## 3. まとめ：

- ・「よい行ないとは何か？」を考え詰めて行く過程で、思考実験を例題として、その行ないの道徳判断の基準を深く吟味することができたように思う。
- ・個人的には、何も行わないこと（行為なし）がときに道徳的な善となる場合があるということは、一つの発見であった。